

学力向上アクションプラン(概要)

学力向上宣言 『学ぶ過程を大切にした授業づくり』

本校の学力状況の傾向と分析

本校児童の全体的な傾向として、思考・判断・表現力は、他の観点より力をつけている実態があり、自分の考えを伝え合うことを重視している日々の学習がその向上につながっていると考えられる。反面、主体的に学習する態度や知識・技能の学力をさらに向上させていくことが望まれる。

本校児童の伸ばしたい点や改善したい点

本校児童の実態として、学習塾に通う児童の割合が高く、知識が豊富で基礎学力が身に付いている児童が多い。本校では、結論や結果も大切ではあるが、その結論に至った過程や方法を学びの中で重視することにより、将来にわたって活かしていける幅広く深い力が身についていくものと考えている。そこで、各教科の学習では、見方・考え方を働かせ、学ぶ楽しさを実感できるような授業づくりをしていくことと、「主体的に学習に取り組む態度」を高めるような授業づくりをしていくことをねらいとして取り組んでいく。

また、学習意欲をもっと高めたい児童や、特別な配慮が必要な児童もいることから、個に応じた支援にも力を入れていく必要がある。

学力向上に向けた教師の具体的な取り組み

①「主体的に学習に取り組む態度」を高める

- 学習のまとまりにおいて、学習の全体イメージを確認してから学習を始める。
- 授業では、活動の見通しをもつことができるような学習問題を提示する。
- ノート指導では、気付いたこと、考えたことを吹き出しに書くように助言していく。
- 授業では、常にねらいやまとめにつながるように意識した発問をする。
- 授業では、自分の思いや考えを発言したり伝えたりする場を位置付けるよう努める。

②知識・技能の向上を図る

- 朝学習(火・木曜日の 8:05～8:15)を活用し、ドリルや小テスト等に取り組む。
- ワークシートやプリントを活用して、自力解決に向かっていけるようノートづくりの指導をする。
- ギガタブの有効活用をする。(ドリルパークや基礎基本の教材等)

③自ら関心のある学び(自学する力を伸ばす)に取り組む

- 毎週木曜日を「自主学習の日」とし、自学ノートを用意して家庭学習を奨励する。
- 家庭学習の手引きを配布し、学校と家庭とが同一歩調で協力して自学に臨む環境を作る。

④その他の学習の充実

- 本の世界に浸れるよう、朝の帯タイム(月・水・金曜日の 8:05～8:15)に「朝読書」を位置づける。
- 専門性や豊富な体験を有するゲストを招聘し、体験的な学びを積極的に計画する。
- 理数サポーターと連携して、一部授業で理科や算数のチームティーチングを行う。
- 理科では、科学的事象に直接出会えるような実験の工夫と、条件整理の力を伸ばす。